

学校だより 夏休み号



平成29年7月21日
京都市立明徳小学校
校長 岡本 雅文
TEL 701-0111
FAX 701-0112

前期前半の終了！

2017年度も4か月が過ぎようとしています。九州北部の豪雨をはじめ、日本の各地で集中豪雨の知らせが届きます。まだまだ不自由な生活をされている方々がおられます。京都でも、激しい雷雨に見舞われることがあります。常に、自然状況には意識をしながら生活をしていく必要があります。十分ご注意ください。春先の不審者情報からはじまり、クマに関わる情報まで、この期間でも様々なことがありました。新年度がスタートし、新しいクラスや教職員、一新する中で、その環境の変化に少し苦しむ子どももいましたが、大きな2つの宿泊学習（修学旅行や長期宿泊学習）も無事に終了し、それぞれの学年の行事や取組も順調に行うことができました。保護者の方々をはじめ、地域の方々の見守りや協力のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

先日、105歳の医師、日野原重明さんがご逝去されました。日野原さんは歴史事件の現場に何度も居合わせたといわれています。また、日本の長寿社会化に大きくかかわったとされます。人間ドックの創設や「生活習慣病」の概念の提唱で、予防医学をこの社会に根付かされました。

その日野原さんは、1987年ごろから全国の小学校で「いのちの授業」を展開されてきました。医師として、何度も人の生死にかかわることで、「命と平和の尊さを語り継ぐことは大切な使命」と考えられたことが、授業につながっていると思います。授業の中で子どもたちに、命と時間を重ね合わせてお話をされました。

「いのちは見えないし、さわれないし、感じられません。時間も見えないし、さわれない。昨日も今日も見えないけれど、寝たり、遊んだり、勉強したりするのは、時間を使っていることです。時間を使っていることが、生きている証拠。時間の中にいのちがある。」

そう考えると、たくさんの時間を使って、私たちは生きています。時間の流れが自分の足跡で、いのちの証かもしれませんね。これから夏休み。学校での決まった時間がない分、自分に与えられ考えて行動する時間がずいぶん増えます。自分で計画を立てて、けじめをつけて生活することで、時間を大切に活用し、ますますいのちが充実して輝いていくことにつながるのかもしれません。

暑い時期ではあります。気持ちも前向きになりにくいかもしれません、いのちを大切に育む、生きている証を充実させていくという観点を含めながら、8月24日までの夏休みの期間をうまく活用して生活してほしいと思います。昨年度もお伝えさせていただきましたが、子どもと保護者がかかる時間が増える時期でもあります。日々のあわただしさの中でなかなかじっくりと子どもと向き合うことができなかつたかもしれません。子どもは確実に成長しています。過ぎた時間や経験は、子どものいのちを大切に育んでくれています。

そこで、この期間の時間を活用して、子どもと向き合い、子どもが成長している姿を実感いただければと思います。

すごした時間を通して、子どもなり歩みだしています。子どものいのちが輝く、そんなかかわり方を私たち大人はしていきたいものだと考えます。そして、大人も子どもも、互いの過ごした時間を大切にし、ますますお互いのいのちが輝く時間をいっぱいつくっていけば素敵ですね。

日野原さんは、子どもたちに、いのちを愛する人間になってほしい。国が違っても、肌の色が違っても、発達の仕方が違ってもすべて大切ないのちで、同じいのち。動物や虫や花だっていのちがある。それを大切できる人になってほしいと伝えられていました。8月15日にあわせて、また、様々な報道がされることかと思います。互いのいのちを大切にし、みんなが安心して、安全に過ごせる社会を、まずは、私たちの地域からつくっていきたいですね。

明徳小学校 校長 岡本 雅文

7・8月行事予定

日	曜	行事予定	プール 9:00~10:30	プール 11:00~12:30	プール 13:30~15:30
7/22	土				
23	日	10:30~11:30			
24	月	サマースクール(9:00~10:00)	めだか教室		
25	火	サマースクール(9:00~10:00)みさきの家(4年)	めだか教室		
26	水	サマースクール(9:00~10:00)みさきの家(4年) 星の子登校日			
27	木	みさきの家(4年)			
28	金	1年登校日			
29	土	PTAバレーボール 学級委員会プロン修繕			
30	日				
31	月	2年登校日 鞍球交歓会 学級委員会プロン修繕	中	低	高
8/1	火	ふれあいコンサート	高	中	低
2	水	水泳記録会(6年)	中	高	低
3	木		高	中	低
4	金		低	中	高
5	土				
6	日	体振プール開放 夏まつり			
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金	山の日 学校閉鎖日			
12	土				
13	日				
14	月	学校閉鎖日			
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土				
20	日				
21	月				
22	火				
23	水				
24	木	夏休み終了			
25	金	前期後半開始 給食開始 朝会 にこにこデー			
26	土				
27	日				
28	月	委員会活動			
29	火	モノづくりの殿堂工房学習4年			
30	水	全校美化活動 読み聞かせ2年			
31	木	スチコン給食			

～地域の行事～

- 「ふれあいコンサート」
8/1(火) 午後5時半~7時
明徳小学校体育館にて
- ・PTAコーラスを楽しむ会
- ・警察音楽隊によるコンサート

「夏まつり」

- 8/6(日) 午後6時~8時半
明徳小学校にて
- ・吹奏楽、和太鼓演奏
- ・江戸音頭・抽選会・模擬店



家庭教育講座
『薬物乱用防止教室』
9月12日に行います。
前期後半が始まりました
たら、改めてご案内いたします。

夏休みの作品募集



自由研究

『京都サイエンスコンテスト』(大きさ 80×110cm (模造紙大) 以内)
枚数や標本、製作物の数には制限はありません

- ・物理(科学工作を含む)、化学、生物、地学に関わる理科研究作品
- ・採集・作成した作品のみは受け付けません(レポートが必要)
- ・液体、生き物、腐敗物は受け付けません。

今年の夏休みは、34日間あります。この期間を利用して、時間をかけて作品製作や研究に取り組んでみてはいかがでしょう。一人でコツコツと取り組むのもよいでしょうし、おうちの方や友達と協力して取り組むのも楽しいものです。計画を立てて、充実した時間を過ごしましょう。学校に来ている作品募集を紹介します。参考にしてください。



夏休み理科研究(進め方)相談会
日時: 7月23日(日)
9:30~11:30, 13:30~15:30
場所: 青少年科学センター (無料)

夏休み理科研究(まとめ方)相談会
日時: 8月20日(日)
9:30~11:30, 13:30~15:30
場所: 青少年科学センター (無料)

『自然科学観察コンクール』
・自由観察・研究(動物・植物・鉱物・地質・天文など自由)



『全国学芸サイエンスコンクール』(4年生以上)
・レポート用紙、または400字詰原稿用紙。枚数は規定なし。
写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料を貼り付けてもかまいません。

『植物作品展』(植物園)
・植物標本(海藻・キノコ・コケを除く)には、記録及び研究等のレポートをつけること。台紙の大きさは、六つ切り厚手のケント紙等を標準(40cm×30cm)とし、統一したものをする。

『創造性コンクール(科学研究コンクール)』
・科学研究に伴う「工作」作品のみ募集。結果のみでなく、そのプロセスを重視します。
たて・横・高さとも1m以内。重さ20kg以内のもの。



この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。
コミュニティ回収や古紙回収等にお出しください。

絵画

『消防の図画』(四つ切か八つ切りの画用紙にパス、水彩絵の具で描く)
・消防車、救急車、消防・救急・消防活動に関するものや未来の消防などの絵



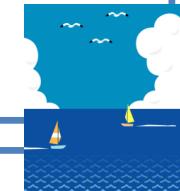
『明るい選挙啓発ポスター』(四つ切か八つ切りの画用紙)
・明るい選挙、投票参加などをすすめるポスター。標語を入れること。

『小学生動物画コンクール』(四つ切画用紙にクレヨン、水彩絵の具など)
・京都市動物園内の動物又は、京都市動物園の風景

『「ごはん・お米とわたし」图画コンクール』(B3判(36.4cm×51.5cm)相当の画用紙)
・お米・ごはん食に関しての思い出、米作りの様子や体験など(作品は返却されません)

○『明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展』

- ・親子や家庭におけるほほえましいふれあいを表現したもの



読書感想文

『青少年読書感想文全国コンクール』(1,2年生800字以内、3~6年生1200字以内)
・課題図書・自由図書 原稿用紙を使用し、縦書きで自筆
課題図書は、学校、新聞、コンクールHP、書店等で案内されています。



工作

『アイディア貯金箱コンクール』(一辺が25cm以内で持ち運びができるもの)
・デザインやしくみに工夫をした貯金箱
・出品者全員に参加賞があります。

『京都市小学生アイディア展』(動くおもちゃ)
・子供の独創的な手作り作品
・子どもの発明工夫に類する工作作品
・空き缶を使ったアイディア作品
・牛乳パック、ペットボトルなどの廃品を利用した作品
・モーターを利用したアイディア作品

いずれのコンクールも応募者多数の場合は、校内で調整する場合があります。ご了承ください。